

らしみさらダボール子育て情報



「生活の言葉」
令和7年4月23日号
板橋富士見幼稚園



人と話し合う楽しさ

今の子どもたちの時代を α （アルファ世代）と呼ぶそうです。
 α 世代は主に2010年代以降に生まれた世代を指し、Z世代に続く世代です。
スマートフォンやタブレットなどの電子機器やインターネットに幼少期から親しんで育ち、デジタルネイティブと言われることもあります。

前回、“遊びの中に生活の流れを入れていきましょう。その時にイヤイヤ期で拒否されることもありますよ。”というお話をしました。今回は α 世代の子どもの育ちに焦点を当ててみたいと思います。

α 世代の子どもたちは、生活の中で機器の操作を自然と身に付けていき、自分で上手に扱いながら様々な映像等を楽しんでいます。その姿を対話という視点で見ると、映像の中から言葉が一方的に投げかけられ、それに反応して言葉を返したり、理解したりしていることが分かります。そのため、語彙（言語）の数は昔の子どもよりとて多く、早い段階から獲得していると言われています。ここで注意したいのは、そういった日常の中で獲得している言葉は、あるルーティーンの中でのやり取りの言葉や、伝達手段的表現言語がとて多いということです。

本来この時期には、自己の感情を乗せた表現的言葉で対話することが大切とされ、その後の育ちに大きく影響すると言われています。ぜひ、生活の中では感情を交えた対話を心がけることを大切にしたいと思います。
例えば、何かを「したい」と言うなら「何を・どうしたいのか」、「食べたい」なら「何を・どうして食べたいのか」などを、自分の言葉で表現できるように促してあげてください。

日々忙しい生活の中でも、子どものちょっとした気持ちの動きに気付いて寄り添いながら、言葉を引き出してあげてことを心の片隅に置いていただければと思います。



【こいのぼり】

↑園庭のこいのぼりを眺めながら、テラスで紙芝居を読みました。
← 年長さんはクラスみんなで大きなこいのぼり製作を楽しみました。